

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2018年												2019年														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ~7日	7月 ~14日	7月 ~21日	7月 ~28日	8月 ~4日	8月 ~11日	8月 ~18日	8月 ~25日	9月 ~1日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	78	65	87	128	22	24	31	25	39	32	11	25	34
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	77	69	51	59	20	6	10	15	15	15	0	5 (7)	9
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	11	6	3	11	1	2	1	1	3	0	0	9	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	12	13	14	24	3	4	1	3	2	6	2	7	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	22	14	11	12	3	1	4	10	2	3	2	5	3
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	1	0	0	3	0	0	1	0	0	2	0	0	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	11	11	2	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和元年第35週(8月26日~9月1日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	11	結核	11	2	1	2		5	1		
三類	4	腸管出血性大腸菌感染症	4				1			3	
四類	8	E型肝炎	1						1		
		デング熱	1					1			
		日本紅斑熱	4	1		2				1	
		レジオネラ症	2		1	1					
五類全数	14	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	1					1		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1							
		侵襲性肺炎球菌感染症	1								1
		梅毒	5	1					2		2
		百日咳	5	1	2				1		1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
 東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1. RSウイルス感染症

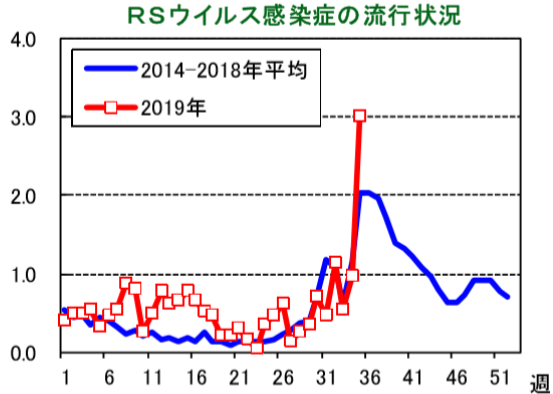
定点当たり3.00人と、前週と比べて約3.1倍に増加しました。患者は0歳、1歳に多く、1歳以下が全体の78.5%を占めています。

RSウイルス感染症は、飛沫感染や接触感染で感染し、1歳未満の乳児は重症化することがあるため、特に注意が必要です。

手洗いの励行、咳などの症状がある場合にはマスクを着用する、おもちゃや手すりなどはこまめに消毒するなど、感染予防対策を徹底しましょう。

2. デング熱

1件の報告があり、今年の累計は3件となりました。



【参考】RSウイルス感染症Q&A(厚生労働省)  
[https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaaku-kansenshou19/rs\\_qa.html](https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaaku-kansenshou19/rs_qa.html)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	9	0.25	0.11		小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.48	
小児科	咽頭結膜熱	19	0.83	0.45	↑	小児科	RSウイルス感染症	69	3.00	2.03	↑
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	0.91	1.29	↘		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.08
	感染性胃腸炎	89	3.87	4.20	↔	眼科		流行性角結膜炎	7	0.88	1.30
	水痘	3	0.13	0.36			眼科	細菌性髄膜炎	-	-	-
	手足口病	39	1.70	1.91	↔	眼科		無菌性髄膜炎	-	-	0.03
	伝染性紅斑	17	0.74	0.18	↔		基幹	マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.23
	突発性発しん	9	0.39	0.47		基幹		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-
	ヘルパンギーナ	24	1.04	1.01	↗		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ↗ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ↔ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい ⇄ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	115	男性(30歳代)・推定感染地域: 国外・1人、女性(50歳代)・1人、女性(70歳代)・2人、男性(80歳代)・1人
4	デング熱	1	3	女性(20歳代)・推定感染地域: 国外
5	梅毒	2	60	女性(20歳代)、男性(30歳代)
5	百日咳	1	55	女性(10歳未満)

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	発熱(40.0) 熱性痙攣	1	男	2019/07/20	咽頭拭い液 尿	コサッキーウイルスA6型
その他の消化器疾患	嘔吐 下痢 腹痛	2	女	2019/07/03	糞便	Aデノウイルス41型
その他の消化器疾患	腸重積	0	男	2019/07/21	糞便	レオウイルス
その他の疾患	発熱(40.0)	0	女	2019/06/27	鼻汁	ハレコウイルス3型
その他の疾患	発熱(40.8) 発疹	0	女	2019/07/06	糞便 尿	ハレコウイルス3型
その他の疾患	発熱(37.5) 循環不全 活気低下	0	女	2019/07/11	咽頭拭い液 鼻汁	ライウイルス

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載